若手研究者ポートフォリオ 若手研究者ポートフォリオ (HIRAKU-PF) **HIRAKU-PF** Young Researchers' Portfolio

能力開発機能 ユーザーガイド **User Guide for Skill Development Function**

(English Guide starts from p. 12)





as of June 28, 2018







能力開発支援機能 (1) 能力診断を行う。(つづき) R D F 全項目診断(Full RDF Skills) 養成科目 Subjects 能力診断/更新 能力別診断・更新 (Assess/Review your Capabilities & Expertise) AL1~03.8 までの統力項目のうち一部もしくは全てが、選択した診断タイプ(石下に表示) に合わせて表示されています。診断タイプを変更したい場合には、「統力解発トップ」ページから名診断タイプ (研究者語識、雇用適正、全項目) を選択してくださ ALT-books にしからいかき、からしてはそしい、確認しいたいのドノンドローにはかい、にもひとくないでもていていない、からしたいでは、いかしたいないたいでは、この通知でレンガンドレンガンドはかい、「加速日本」」」」、 い、小道日本のとしてマクスを置くといいの時間が完成され、クリンクなるといいないが、のコンエスに大いかられる構築、行動・聴見が表示されます。内容を確認して自力が今とのフェスによるのもない、この通知では、からいの度いしてビデン ス)、今後のフクションプランを入れすることができます。各様の五上に表示されるペンマークをクリックすると構築できます。内容が更新された側は背景が貴をくいイライトされます。新始の形式、新聞への限してビデン を押してください、いいのこれには stall descriptors (depending on your selected assessment types (above right of our light down light (End F全項目診断(Full RDF Skills) Vitae ©2018 Careers Research Advisory Centre (CRAC) Limited, www.vitae.ac.uk/RDFcc 最終更新日時 2018/04/22 22:19 頏目 各ドメインに属する小項目能力 A1 知識基盤 A:知識と知的能力 のうち、診断に必要な能力が抜 粋して表示される。能力名に カーソルを合わせて概要確認。 A2 認知的能力 診断したい小項目能力名をク リック A3 創造性 詳細項目確認&診断(RDF Descriptor Phases & Assessment): RD F全項目診断(Fu 各フェーズの内容を確認。 RDF No. A2.3 はカ(skiu) 批判的思考力(Critical thinking) 家は更新日ごとに保存され、過去に 下記のフェーズごとに求められる知識・態度・技術を確認し、今自分が達成していると思うフェーズを選択してください 遡って出力できます。 rd will be stored in the database, which can be historically Please select your current phase, based on the below desription (expected knowledege, skills and atitude. Your sel extaced. (口頭・文書による) 議論を理 意義ある重要な論点を認識し 批判的思考力を自信を持って発 創造性に満ちた批判的思考の持ち主として、国内外で認められて 解し自分の仮説を明示すること 他者の仮説を評価することがで **揮している。 経験の浅い研究者** いる。専門分野・研究領域および政策レベルにおいて批判的思考 ができる。自立した批判的思考 を構築している。問題を認識し きる。独自の自立した批判的思 考を持ち、理論的概念を構築す や同僚の批判的思考能力に刺激 力を促す存在である。(Is a creative critical thinker, acknowledged n を与えている。 (Is proficient an ationally and internationally. Stimulates critical thinking at discipline/r Ξ 検証する能力がある。さまざま る能力がある。証拠に基づいて d confident in applying critical thi esearch area and policy levels.) な知識獲得方法および代替パラ 堅実で現実的な判断を下すこと nking skills. Stimulates critical thi ダイムについて認識している。 ができる。 (Recognises signific nking in less experienced research (Able to understand argument (ant and important arguments and ers and peers.) 自分が達成していると思う oral and textual) and articulate o can evaluate the assumptions of o wn assumptions; developing inde thers. Is capable of original, indep フェーズを選択し、保存。 pendent and critical thinking. Has endent and critical thinking and h as the ability to develop theoretic the ability to recognise and valida te problems. Recognises multiple al concepts. Makes sound and real ways of knowing and alternative p istic judgements based on eviden aradigms.) ce.) • 自分の現在の達成フェーズを選択してください。 保存(2 Please select your current pl





能力開発支援機能

① 能力診断を行う。(つづき)

	小項目(De	scriptor)	フエーズ (Phase)	エビデンス(Evide	ence)	アクションプラン(Action Plan)
1.1専門分野の知	知識(Subjec	knowledge)	3		Ø	
1.2 研究方法(現 ical knowledge)	理論的知識))	(Research methods – theor	3			
L.3 研究方法(』 plication)	忘用力)(Re	search methods – practical a	1			大項目ごとに「エビデンス」「アクショ
1.4情報探索力	(Information	seeking)	5			ンフラン」欄石上に表示される鉛筆
1.5 情報リテラう d management)	シーと情報管	理力(Information literacy a	2			マークをクリックし入力する。
L.6 言語力(Lan	nguages)		5			6
	A:知識	と知的能力:エビデ	シス			
						列示されているヒントを参考にエビ
						デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。
運新日時	完了]	_			デンス、アクションプランをそれぞれ入力し保存。
使新日時 6/04/22 22:15	7 7)		71		デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。 Cancel Save
要新日時 3/04/22 22:19 中頂目(S ain	完了 isub-dom n)	小项目(Des	riptor)	フェ ーズ(Phas e) エビ:	デンス(Evidence)	デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。 Cancel Save アクションプラン(Action Plan)
要新日時 /04/22 22:19 中頂目(S air A1知識甚	完了 iub-dom n) 建建	小頃目(Dess A1.1 専門分野の知識 dge)	riptor) (Subject knowle	フェ ーズ(Phas e) エビ: 3 ノ共同研究を中心! 施し、3・9月の子:	デンス(Evidence) ここの研究プロジェクト 会で発表した。	デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。 アクションプラン(Action Plan) <u>シェ ノ 「料学者のための差頭ブレゼンテーション紙</u> 仮保在したエビデンス アクションプラン(1
更新日時 小04/22 22:19 中項目(S air A1 知識甚	完了 sub-dom n)	小項目(Desr A1.1専門分野の知識 dge) A1.2研究方法(理論e rh methods - theoret	riptor) (Subject knowle 功知能) (Resea cal knowledge)	フェ ーズ(Phas e) エビ: 3 ✓共同研究を中心 施し、8・9月の学 ジ稿計解析などの3 3 ジ共同研究を中心 施し、1・9月の学 ジ稿計解析などの3 3 ジ共同研究を中心 施した。1・9月の学 ジ稿計解析などの3	デンス(Evidence) こここの研究プロジェクト 会で発表した。 研究会に2カ月に1回 門分野の知識」 究をoo学会に投稿して	デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。 Cancel Save アクションプラン(Action Plan) をしたエビデンス、アクションプランに 背景色が変わる。右上のSaveボタンを押 すとデータが保存される。
要新日時 9/04/22 22:19 中项目(S air A1知識甚	完了 iub-dom n)	小頃目(Dess A1.1専門分野の知識 dge) A1.2研究方法(理論詞 rch methods - theoret A1.3研究方法(応用); methods - practical ap	riptor) (Subject knowle 外口能)(Resea cal knowledge) 力)(Research plication)	フェ ーズ(Phas e) エビ: 3 ✓共同研究を中心 施し、3・9月の学 %統計解析などの追 発表した「A11専 パ博士論文の追明 3 3 ジー目の学 先表した「A11専 パ博士論文の追明 出判的思考力」 1 - Carried out the AB ugh the collaboration	デンス(Evidence) こここの研究プロジェクト 会で発表した。 研究会に2カ月に1回 門分野の知識」 究をoo学会に投稿して 3C project focusing maive research and made a pro	デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。 Cancel Save アクションプラン(Action Plan) をまして「料業者のための業産プレインテーション派 仮保存したエビデンス、アクションプランに 背景色が変わる。右上のSaveボタンを押 すとデータが保存される。
受新日時 J/04/22 22:19 中顶目(5 air A1 知識甚	定于 sub-dom n)	小頃目(Dess A1.1 専門分野の知識 dge) A1.2 研究方法(理論 rch methods - theoret A1.3 研究方法(応用; methods - practical ap A1.4 情報探索力(Inf)	riptor) (Subject knowle 均知語) (Resea cal knowledge) 力) (Research plication) ormation seeking	フェ ーズ(Phas e) エビ: 3 ✓共同研究を中心1 施し、3・9月の学: 3 ジ共同研究を中心1 施し、3・9月の学: 3 ジ先は一系は1:零 パ博士論文の追訳すう」 1 - Carried out the AB ugh the collaborativ ation at the Confest east once in two mode 5 - Attended a study ge east once in two mode	デンス(Evidence) こここの研究プロジェクト 会で発表した。 研究会にな力月に1回 門分野の知識」 完を。。学会に投稿しり 3C project focusing mai ve research and made a pre- ance in Aug-Sep. group on Statistical Anarysis noths and made a presenta	デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。
受新日時 /04/22 22:19 中頂目(s air A1 知識甚	完了 sub-dom n)	小頃目(Dest A1.1専門分野の知識 dge) A1.2研究方法(理論 rch methods - theoret A1.3研究方法(応用) methods - practical ap A1.4 情報探索力(Inf) A1.5 情報リテラシーの nformation literacy an	riptor) (Subject knowle Sh江祗) (Research plication) ormation seeking 上情報管理力 (I d management)	フェ ーズ(Phas e) エビ: 3 ノ共同研究を中心1 施し、3・9月の学う 3 ノ共同研究を中心1 施し、3・9月の学う 3 発表した「AL1専打 ノ博士論文の追研書 批判的思考力」 1 -Carried out the A& ugh the collaboration ation at the Conferer - Attended a study ge east once in two mode east once in two mode - Submitted an adbited eme of the doctoral 2 -Submitted an adbited eme of the doctoral	デンス(Evidence) ここの研究プロジェクト 会で発表した。 研究会に2カ月に1回 行分野の知識」 究を。。学会に投稿し 3C project focusing mai ve research and made a pre- ance in Aug-Sep. group on Statistical Anarysis ponths and made a presenta ct Knowledge") itional paper on the researn thesis at the XVZ Society	デンス、アクションプランをそれぞれ 入力し保存。















能力開発支援機能 ④ 養成科目の参加予定・履修記録を登録する。(つづき) 能力養成科目/プログラム詳細(Recommended Subject/Program Description) 能力養成科目/プログラムの詳細です。一番下までスクロールすると、養成が期待される能力の一覧を確認することができます。 い。履修後に下記「参加記録」をクリックしておくと、自己評価レポートに能力養成のエビデンスとして表示させることができ to the bottom to check the full list of RDF skills expected to be developed by taking this subject/program. If you want to attend this, pleas 個別科目名をクリックし、科目 "Attended" button to reflect your attendance in your self-assessment report as the evidence of your skill development action の内容をチェック。参加を予定 参加記録(Record Attendance) 参加取消(Cancel Attendance) する場合にはその記録、予定 高度イノベーション人財のためのキャリアデザイン していた科目をキャンセルする 場合には取り消しボタンをク 講師(Instructor) 三須 敏幸 リック。 開講機関(Univ./Org.) 広島大学(Hiroshima University) 機関内講義コード(Class Code) 85026001 グローバルキャリアデザインセンター(大学院共通科 開講部局(Faculty/Dept.) 目) 開講期(Semester/Term) 各科目情報は、基本的にシラ 1年次生 前期 集中 曜日・時限(Day/Period) (集) 集中:担当教員の指定による バスから抜粋されているが、実 必修選択の別(Mandatory/Optional) 選択(Optional) 際の履修登録、科目詳細、受 授業形態(Class Style) 遷義 講方法などは個別に確認のこ 単位(Credit) ٤。 小項目別養成科目(Recommended Class per RDF Skills) ◎がついている能力は、履修することにより替得することができると想定されています。⇒がついている能力は、副次的に対象能力を義成できると想定されています。ステータスを参加確定に 変更すると(=履修済記録をつけると)、 © がついた能力を養成したエビデンスとして自己評価レポートに反映されます。This class/program is expected to develop the RDF skills marked with double circles, once you complete the course. Skills with single circles will be supplementally developed. If you set the attendance flag on after you complete the course, it will be reflected in your assessment report as evidence that you have developed skills with double circles 大項目(Domain) 中項目(Sub-domain) 小項目(Descriptor) 養成度(Develop B:個人の能力 B3能力開発・キャリア開発 B3.1キャリアマネジメント(Career management) B3.2 継続的な能力開発 (Continuing professional development) B3.3 機会への対応力 (Responsiveness to opportunities) D: 影響とインパクト D3 一般社会との関わりとインパクト D3.5 社会・文化への影響力 (Society and culture) D3.6 グローバル市民としての対応力 (Society and culture) X CLOSE 対象科目が、RDFのどの能力 を養成すると期待されているか、 確認できる。







<sup>
ま
ま
研究
ま
ポートフォ
リオ
(HIRAKU-PF)
</sup>

5 全体・年間の	目標を設定・更新する。	
HIRAKU PF D 閲覧用アカ	養成科目・参加記録(List of Recommended Subject	ts/Attendance Record)
	能力養成 / Skill Development 能力診断便新 卷成科目	全体・年間目標 Divertime
ePortfolio	Assessment Subjects	
■ 能力開発 ~ Assess/Develop Skills 能力開発トップ	能力養成科目・プログラムの一覧が表示されています。展修・参加した科目につ ができます。そして、参加記録された科目に紐づいている能力を養成したエビデ 成科目を確認したい場合には、下記「能力別養成科目一覧へ」をクリックしてく	いては、クリー ままされる画面で参加記録をつけること シスとして、自己 値されます。能力ごとに養 ださい
Skills TOP 能力診断/更新	for your skill development. Click the subjects/programs you ve attended and record your report as the evidence of your skill development actions. If you want to check classes p	
Assessment 養成科目	・ 我が何日間間のが利用フイト (Horvo use Skill Development Classes Function?) 能力別接成4日の500 Chases built to back Cubic to acc BDE Skills	側サノメーユーから 主体・牛
Subjects 全体・年間目標	Change View to check Subject per KUF Skills	
Objectives 自己評価レポート	」 愛加・南部海(Completed) す。Tick the box at the left to she Show 10 ♥ entries	ow only the classes/programs you have attended. Search:
Reporting	+ 開講機問(Univ./Org.) + 開講部局 ↓	科目名(Class Title) ◆ 担当教員名 ◆
目標設定/行動計画(obj 長期目標および年期目標を設定編集) は、具体的な活動の参考になるシー プロのアドバイスを受ければより多相 思う能力について最広することができ ことができます。Setu your long-terr HIRKU-PF, provides you tools to set up	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) ノ、遠成に向けた行動計画を作成/編集してください。設定した目標明日はポータル(HOME)のカル ルが含まれておりますので、活用しながう随時更新してください。例えば、「キャリンT相談」か で効果的な計動音を立てることができます。「応力開発・発気KH国」から相トサブログラムと さます。本画面でのデータには書きされていきますが、自己評価レパートを出力すれば、過去に囲 v/annual objectives and create your action plans for each. Target Date will be relifected in the calendar in specific action plans, You can receive advice from professional career counselors through Career Career	保存(Save) 閉じる(Close) ハンダーに反映されます。本システム内に の面泌を積を行い、見体的な進路について 避沢することにより、自分が伸出したいと って月次保存されているデータを確認する your Portal (Home Screen). This sytem, sing functions. You can find ing functions. You can find
日標設定/行動計画(obj 長期目標および年間目最を設定編集 は、具体的な行動画の参考になるシー プロのアドバイスを受ければより34 思う能力について登成することができ ことができます。Setup your long-terr HIRAKU-FF, programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the Self-As	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) 、 遠成に向けた行動計画を作成爆集してください。設定した目標期日はポータル(HOME)のカル ルが含まれておりますので、活用しながう励時理新してください、例えば、「キャリア相話」か に効果的な行動計画を立てることができます。「能力開発> 養成利目」から利用ドウブログラムを はす。本調面でのデータは上書されていきますが、自己専組レポートを出かすれば、過去に感 v/annual objectives and create your action plans for each. Target Date will be reflected in the calendar in specific action plans, You can receive advice from professional carere course Skills / Subjects* function menu. Datta will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report.	保存(Save) 閉じる(close) シンターに反映されます。本システム内に 今面能依頼を行い、具体的公準額でついて 認知することにより、自分が解成したいと って月次報行されているテータを確認する ういのでわれれ (Home Screen)、This sytem, まing function. You usen find is stored in the database on a monthly basis, 長期日煙(研究者としての最
目標設定 /行動計画(obj 長期目標および年間目標を設定/編集 は、見体的な行動画の参考になるシー プロのアドバイスを受ければより多報 思う能力について意味することができ ことができます。Set up your long-terr HIRAULPF, provides you tools to set up subject/yorgans via "Assess/Develop which can be downloaded to the Self-As 長期目標(Overall Objective	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) ふ 遠域に向けた行動計画を作成/編集してください。設定した目標期日はポータル(HOME)のカル ルが含まれておりますので、活用しながら随時更れてください。例えば、「キャリンT相談」か に交別取られ着動に音なてることができます。「能力開発・酸点KH目」からHHPワブログラムを はす。、本編画でのデータは上書されていきますが、自己評価レパートを批力すれば、過去に超 n/nnual objectwes and create your action plans for each. Target Date will be reflected in the calendari specifyic action plans, You can receive advice from professional career counselors through Career Counse Skills / Subjectw [®] function menu. Datta will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report.	ぼ存(Save) 聞じる(close) シンダーに反映されます。本システム内に SaliKuk線を行い、見体的少雄路について Bill State Counce Bill State Counce Suproficial Monos Screent, This system, eling functions. You can find is stored in the database on a monthly basis, 長期目標(研究者としての最 終日標なり、過程終了時の目
日標設定 / 行動計画(obj 原期目標またび年間目標を認定 編編 は、具体的な行動画の参考になるシー プログドバイスを製ければより多掛 思う能力について獲成することができ ごとができます。まなした おしたいで獲成することができ にといてきます。またがで におんいや, row side you tools to set up subjects/programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the Self-As 長期目標(Overall Objective	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) . 遠域に向けた行動計画を作成爆集してください。設定した目標明日はポータル(HOME)のカル ルが含まれておりますので、活用しなが今随時変形してください。例えば、「キャリフ相談」か に交流的な行動計画をつてることができます。「認力期外、査権X相目」から相下サプログラムと でます。本画面でのデータは上書さされていきますが、自己評価レポートを出力すれば、過去に通 vannua objective and create your action plans for each. Target Date will be reliected in the calendar in specific action plans, You can receive advice from professional career counsel Skills / Subjects* function menu. Datta will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report.	ぼない ぼない ぼうしての にない い にの にの い い い い にの い い い にの い い い い い にの い
日標設定 / 行動計画(obj 長期目標および年間目標を設定編編 は、具体的な行動画のを考になるシー プロのアドバイスを毀ければより発射 ごお形について籤成することができ ごとができます。Set up your long-tern HIBAU-FF, provides you tools to set up subjects/programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the Self-As 長期目標(Overall Objective 記入日(Last Updated): 期限日(Target Date):	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) ン、遠成に向けた行動計画を作成爆集してください。設定した目標期日はポータル(HOME)の力L ルが含まれておりますので、活用しなが多麺時運転してください。例えば、「キャリフ間超」か て効果的な行動計画を立てることができます。「能力開発> 徴級相目」から科目やプログラムぞ する」、楽画面でのテーダは上書されていきますが、自己専組レポートを出力すれば、過去に勤 psechic action plans for each. Target Date will be reflected in the calendar in specific action plans you can coever advice from professional career counsel Skills / Subjects" function menu. Data will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report. 	(保存/Save) 閉じる(close) ンターに反映されます、ホシステム内に 今週本信頼を行い、具体的小磁額について 選択することにより、自動が削減したいとう って月次保存すれているテータを確認する your Portal (Home Screen)、This sytem, sing functions. You can find is stored in the database on a monthly basis, 長期目標(研究者としての最終目標なり、過程終了時の目 標なり自由に設定可)、年間 目標を入力。入力した期限日
日標設定 / 行動計画(obj 長期目標なよび年間目標を設定 編編 は、具体的な行動画のを考になるシー プロのアドバイスを毀ければより発射 ごおかについて意味することができ ごとができます。Set up your long terr HIBAU-PF, provides you tools to set up subjects/programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the Self-As 長期目標(Overall Objective) 	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) シ、遠成に向けた行動計画を作成爆集してください。設定した目標期日はポータル(HOME)のカル ルが含まれておりますので、活用しなが多動時理所してください。例えば、「キャリプ間結」か tro効果的な行動計画を立てることができます。「能力開発> 徴成相目」から科目やプログラムぞく する。本画面でのデーダは上書されていきますが、自己準備レポートを出力すれば、過去に感 pachic action plans for each. Target Date will be effected in the calendar in specific action plans you can coever advice from professional career coursel system course of through Career Course Skills / Subjects" function menu. Data will be overwritten upon updates, but your historical entry record assament Report. 	(保存/Save) 閉じる(close) >>タームの数字のでは、していたいで、このでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」のでは、「おうかい」の「「おうかい」の「「おうかい」の「「おうかい」の「「おうかい」の「「おうかい」の「「おうかい」の「「おうかい」の「「「おうかい」の「「「おうかい」の「「「「「「」」の「「「「「」」の「「「」」の「「「」」の「「「」」の「「「」」の「「」の「「」の「「」の「「」」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「「」の「」の
日標設定 / 行動計画(obj 長期目標なよび年間目標を設定 編編 は、具体的な行動画のを考になるシ プロのアドバイスを毀ければより発射 影を訪たしついて意味することができ ごとができます。Set up your long-tern HBAU-F7, provides you tools to set up subjects/programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the Self-As E期目標(Overall Objective) 	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) シ、遠成に向けた行動計画を作成爆集してください。設定した目標期日はポータル(HOME)のカレールが含まれておりますので、活用しなが今動時理所してください、例えば、「キャリフT能見」か けで効果的な行動計画を立てることができます、「龍力開発> 徴族相目」から科目やプログラムぞします。水園面でのデータは上書されていきますが、自己厚細レポートを出力すれば、過去に認 Mannual objectives and create your action plans for each. Target Date will be effected in the calendar in specific action plans you can eccesse advice from professional career counselors through Career Counse Skills / Subjects* function menu. Data will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report. 	(保存/Save) ■じる(close) >>P-C に反映されます、#>>7-5/A(C)C C 画板(報告下い、具体的公論部について、 SUPUF OF LIG (MTC) (MTC
日標設定 / 行動計画(obj 原順目標志たび年間目標を認定 編編 は、 見林的な行動画の参考になるシー プロのアドバイスを設ければより94 思う部力について数点することができ ことができます。Set up your long-term bi NRAU-PF, provides you tools to set up subjects/programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the SelF-As 長期目標(Overall Objective) 超入日(Last Updated): 目標(Objectives): 日標(objectives): 行動計画(Action Plan):	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) 小、海域に向けた行動計画を作成爆集してください、設定した目標明日はポータル(HOME)のかし 小が含まれておりますので、活用しながら随時更新してください、例えば、「キャリンT閣誌」か に文地界的な計動に含むてこととかできます。、前に別明名 英級KAIL目 からHINPでリアウラムと ます。本画面でのデータゴム注意されていきますが、自己評価レパートを出かすれば、過去に通 nyanual objectives and create your action plans for each. Target Date will be reflected in the calendar in specific action plans, You can receive advice from professional career counselors through Career Counsel Skills / Subjects ⁴ function menu. Data will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report. 	Rtf(svel) BU3(close) ンターに反映されます。キシステム内に Calification Super Portal (Home Screen). This sytem, Bing Ganctions. You can find its order in the database on a monthly basis, 長期目標(研究者としての最 終目標なり、過程終了時の目 標なり自由に設定可)、年間 目標を入力。入力した期限日 はポータルのカレンダーに反 映される。 目標・行動計画を入力する場 合は例示を参考に。
日標設定/行動計画(obj	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) . 遠域に向けた行動計画を作成爆集してください。設定した目標明日はポータル(HOME)のカル ルが含素れておりますので、活用しなが今随時変形してください。例えば、「キャリフ相談」か に効果的な行動計画をつてることができます。「能力期外の 着成外目 から作用サアロクラムと たます。本編画でのデータは上書されていきますが、自己評価レポートを出力すれば、過去に通 い/annua dojectives and create your action plans for each. Target Date will be everwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report.	▲ 「東京の」」」では、「東京の」」では、「東京の」」であった。
日標設定 / 行動計画(obj	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) 小が含素れておりますので、活用しなが今通時要販してください、税式した目標期日はポータル(HOME)のカル 小が含素れておりますので、活用しなが今通時要販してください、税式した1日標期日はポータル(HOME)のカル 小が含素れておりますので、活用しなが今通時要販してください、税式した1日標期日はポータル(HOME)のカル 小が含素れておりますので、活用しなが今通時要販してください、税業体目 からHemiter Home ジョン・シームの含素れておりますので、活用したが今通時要販してください、税業体目 からHemiter Home プロシームを批力すれば、損益に置い パルnual objectives and create your action plans for each. Target Date will be effected in the calendari specific action plans, You can receive advice from professional career counselors through Career Counse Skills / Subjective function menu. Data will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report. 2016/03/16 2022/03/01 	▲ 保存(Save) 健じる(close) →2分-に反映されます。オシステム内に Gaillex機能行い、異体的公式協定ついて Salityであることの、自分が伸びしたいとう つて月気解存されているテージを確認する。 2007 Potal (Monos Screen)、This ystem, aling functions. You can find is stored in the database on a monthly basis, 目標 functions. You can find is stored in the database on a monthly basis, 目標 functions. You can find is stored in the database on a monthly basis, 日標 functions. You can find is stored in the database on a monthly basis, 日標 functions. You can find 日標を入力。入力した期限日 はポータルのカレンダーに反 映される。 日標・行動計画を入力する場 合は例示を参考に。
日標設定 / 行動計画(obj 原期目標点たび年間目標を認定 編編 は、県林的な行動画の参考になるシー がつつのアドバイスを繋げればより等社 思るかについて数点することができ ことができます。Set average of the Set Average Subjects/programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the Set Average E規目標(Overall Objective 記入日(Last Updated): 日標(Objectives): 記入日(Last Updated): 記入日(Last Updated):	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) シュ酸点に向けた行動計画を作成爆集してください、設定した目標期日はポータル(HOME)のカレ ルが含まれておりますので、活用しながら動物更新してください、例えば、「キャリフT閣誌」か に文効用的な計動に含むてくたてきます。「防力開発・数点料目」からHINPTワブラムとない ます。ホ海画でのデータゴム注意されていきますが、自己評価レパートを出かすれば、過去に通 nyanual objectives and create your action plans for each. Target Date will be reflected in the calendar in specific action plans, You can receive advice from professional career councelors through Career Counce Skills / Subjects ⁴ function menu. Data will be overwritten upon updates, but your historical entry record sessment Report. 2016/03/16	▲ 「東京の市」」「「東京の市」」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」」「東京の市」「「東京の市」「「東京」「「東京」「「東京」「「東京」「「東京」「「東京」「「東京」「「東
日標設定人行動計画(obj 田明県恭よび年間目母を設定)編編 は、具体的な行動画のを制になるシー プロのアドバイスを設ければより発 ジョおかについて彼みすることができ ことができます。Setu pyour Iongker HIRAUPF, provide your tools to ast up subjects/programs via "Assess/Develop which can be downloaded to the Self-As 思知目標(Overall Objective 記入日(Last Updated): 聞限日(Target Date): 日標(Objectives): 記入日(Last Updated): 記入日(Last Updated):	Objective & Action Plan) ective & Action Plan) ・ 通域に向けた行動計画を作成爆集してください、設定した目標期日はポータル(HOME)のカル ・ 小が含まれておりますので、活用しなが今通時要販してください、例えば、「キャリフ相談」か ・ ためつすれる) ・ パンパーの「おおれておりますので、活用しなが今通時要販してください、例えば、「キャリフ相談」か ・ ためつすれた「日本のなりまれていきますが、自己評価レポートを出力すれば、過去に通 ・ パンパートを出力すれば、「およにご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、「およこご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、「およこご ・ パンパートを出力すれば、通去にご ・ パンパートを出力すれば、「日本のなりのであればい」ののいかすがしま ・ パンパートを出力すれば、「日本のなりのでい ・ パーののいかし、のしてい ・ パーののいかし、のしてい ・ パーの、 ・ パーの、 ・ パーのいかっし、のし、 ・ パーのいかし、 ・ パーのいかし、 ・ パートを出力すれば、 ・ パーのいかし、 ・ パーのいかし ・ パーのいかし、 ・ パーのいのに、 ・ パーのいかし、 ・ パーのい。 ・ パーのいのに、 ・ パーのいのに、 ・ パーのいのに、 ・ パーのい。 ・ パーのい。 ・ パーのい。 ・ パーのいのに、 ・ パーのい。 ・ パーのい。 ・ パーのい。 ・ パーのいのに、 ・ パーのいのに、 ・ パーのいの ・ ・ パーのい。 ・ ・ ・	▲ 「東京国家」」」 ▲ 「東京国家」」 ▲ 「東京国家」 ▲ 「東京国家」」 ▲ 「「東京国家」」 ▲ 「「東京」」 ▲ 「「東京」」 ▲ 「「東京」





KU





Realising the potential of researchers, globally.

Vitae is a non-profit programme, with over 45 years experience in enhancing the skills and careers of researchers. It was supported between 2008 and March 2015 by the UK Research Councils and latterly also by other UK HE funding bodies: the Department for Employment and Learning (DELNI) and the Higher Education Funding Councils for England, Wales and Scotland. From 2013 it began to implement plans to become an international, self-sustaining programme. Vitae's membership programme was launched in January 2015 and currently it has over 160 member organisations.



Vitae RDF: The Vitae Researcher Development Framework (RDF) is for you if you are doing a doctorate, are a member of research staff, pursuing an academic career or thinking about applying the skills developed during your PhD in another career. The RDF is structured into four domains covering the knowledge, behaviours and attributes of researchers. It sets out the wide-ranging knowledge, intellectual abilities, techniques and professional standards expected to do research, as well as the personal qualities, knowledge and skills to work with others and ensure the wider impact of research. Within each of the domains there are three sub-domains and associated descriptors.







Skill Development

① Assess your skills. (Continued)

	小項目(Descriptor)	フエーズ (Phase)	エピデンス(Evidence)	アクションプラン(Action Plan)
1.1専門分野の決	印能(Subject knowledge)	3		2
1.2 研究方法(理 tical knowledge)	里論的知識)(Research methods – the)	eor 3		
s 研究方法(偏 plication)	芯用力) (Research methods – practica	ala 1		Click Pencil Icon to enter Evidence
.4情報探索力	(Information seeking)	5		and Action Plans per 4 Domains.
1.5 情報リテラう I management)	シーと情報管理力(Information literac	ya 2		
1.6 言語力 (Lan	nguages)	5		
	A:知識と知的能力:エビ語	デンス		
				Refer to the TIPS to be displayed in the Edit window.
逐更新日時 8/04/22 22:19	第 7 ,			.:: Cancel Save
要新日時 3/04/22 22:19 中頂目(S air	第7 sub-dom n) 小項目(D	vescriptor)	フェ ーズ(Phas e) エビデンス(Evidence)	.:: Cancel Save アクションプラン(Action Plan)
更新日時 /04/22 22:19 中頂目(S air A1 知識甚	(第7) (iub-dom 小項目(D) (建 A1.1 専門分野の知識	escriptor) (Subject knowle	フェ ーズ(Phas e) エビデンス(Evidence) 3 メ共同研究を中心についの研究プロジェク 施し、8・9月の学会で発表した。 (法計研究と) Par 空を表した。	.:: Cancel Save アクションプラン(Action Plan) トを実 ✓ 「科学者のための英語プレゼンテーション術 」を履修する「A1.6言語力」
更新日時 /04/22 22:19 中项目(S air A1 知識甚		escriptor) 讖(Subject knowle 論的知識)(Resea retical knowledge)	フェ ース(Phas e) エビデンス(Evidence) 3 メ共同研究を中心にこのの研究プロジェク 加し、8・9月の学会で発表した。 3 メ統計解析などの読を会に2力月に1回認 発表した「A1.1専門分計、10年 いば20日期をすり	
受新日時 /04/22 22:19 中顶目(S air A1 知識甚		escriptor) 叢(Subject knowle 論的知識)(Resea retical knowledge) 用力)(Research Lapplication)	フェ ーズ(Phas e) エビデンス(Evidence) 3 メ共同研究を中心にこのの研究プロジェク 施し、8・9月の学会で発表した。 、V統計解析などの、交会に2カ月に1回惑 3 3 発表した「A1.1専門分計」でもし パ博士論文の追研究をco学会」 批判的思考力」 1 - Carried out the ABC project focusing main ugh the collaborative research and made a	Eancel Save Cancel Save アクションプラン(Action Plan) トを実 ✓「科学者のための英語プレゼンテーション術 」を履修する「A1.6 言語力」 如ルレ 〈第2・5・8回のコンソーシアム人材セミナー を受酵しアカデミア以外の情報を得る 「A2.3 - Attend the "Academic Writing in English" class. ("A1.6 Language) Municipal Section 2010
要新日時 /04/22 22:19 中顶目(S air A1 知識甚	第二 小項目(D 第二 A1.1 専門分野の知道 dge) A1.1 専門分野の知道 dge) A1.2 研究方法(理 rch methods - theorem A1.3 研究方法(広) methods - practical A1.4 情報探索力()	escriptor) 誰(Subject knowle 論的知識)(Resea retical knowledge) 用力)(Research l application) Information seeking	フェ ーズ(Phas e) エビデンス(Evidence) 3 メ共同研究を中心にここの研究プロジェク 施し、8・9月の学会で発表した。 V統計解析などの、空会に2カ月に1回参 3 3 発表した「A1:専門分計、 「博士論文の追研究をoo学会」 批判的思考力」 1 - Carried out the ABC project focusing main up the collaborative research and made a president at the Conference in Aug-Sep. 5 - Attended a study group on Statistical Ang east oncce in two months and made a president at the Conference in Aug-Sep.	Cancel Save アクションプラン(Action Plan) Save トを実 く「科学者のための英語プレゼンテーション術」を履修する「A1.6 言語力」 ショングーシアム人材セミナーを受願しアカデニア以外の情報を得る た4.3 ・ Attend the "Academic Writing in English" class. (*A1.6 Language) **** ************************************
更新日時 /04/22 22:19 中頂目(S air A1 知識甚	iub-dom n) 小項目(D 強 A1.1専門分野の知道 dge) A1.2研究方法(成) methods - theor A1.3研究方法(広) methods - practical A1.4 情報探索力() A1.5 情報リテラシ・ nformation literacy	escriptor) 識(Subject knowle 論的知識)(Resear retical knowledge) 用力)(Research l application) Information seeking ーと情報管理力(I and management)	フェ ーズ(Phas e) エビデンス(Evidence) 3 メ共同研究を中心にここの研究プロジェク 地し、8・9月の学会で発表した。 イ統計解析などの、空会に2カ月に1回想 3 発表した「A11専門分計、10年日 パ博士論文の追研究を00学会」 北判的思考力」 1 - Carried out the ABC project focusing main ugh the collaborative research and made a pres ation at the Conference in Aug-Sep. 5 - Attended a study group on Statistical Ana east once in two months and made a pres there. ("A1.1 Subject Knowledge") 2 - Submitted an additional paper on the res eme of the dorbreal thesis at the Y27 Section	Cancel Save アクションプラン(Action Plan) トを実 く 「科学者のための英語プレゼンテーション術 」を履修する「A1.6 言語力」 かいし、メデュ・ションリーシアム人材セミナー を受請しアカデミア以外の情報を得る 「A2.5 ・ Attend the "Academic Writing in English" class. (*A1.6 Language) Attend a series of Consortium Seminars on Hu reson Donce you enter the Evidence/ Action Plan fields, the background academ schemes and
<mark>更新日時</mark> 1/04/22 22:19 中顶目(S ain A1 知識甚	jub-dom 小項目(D jub-dom 小項目(D 強 A1.1専門分野の知道 dge) A1.2研究方法(理 rch methods - theor A1.3研究方法(広) methods - practical A1.4 情報探索力()) A1.5 情報リテラシ・ nformation literacy A1.6 言語力(Lang)	escriptor) 識 (Subject knowle 論的知識) (Resea retical knowledge) 用力) (Research l application) Information seeking 一と情報管理力 (1 and management) uages)	フェ ース(Phas e) エビデンス(Evidence) 3 ノ共同研究を中心にこのの研究プロジェク 施し、8・9月の学会で発表した。 3 火統計解析などの影空会に2力月に1回影 3 発表した「A1.1専門分野」 「第土論文の追研究を0000年日、10年日 、10年日の1日本名をの手会」 北判的思考力」 1 - Carried out the A8C project focusing main ugh the collaborative research and made a stion at the Conference in Aug-Sep. 5 - Attended a study group on Statistical Ana east once in two months and made a press there. ("A1.1 Subject Knowledge") 2 there. ("A1.1 Subject Knowledge") - Submitted an additional paper on the res eme of the doctoral thesis at the XVZ Socie	Cancel Save Cancel Save アクションプラン(Action Plan) Prションプラン(Action Plan) 文策2・5・8回のコンソーシアム人材セミナー を受講しアカデミア以外の情報を得る (A:3 ・ Attend the "Academic Writing in English" class. (Yil.8 Language) Attend the "Academic Writing in English" class. (Yil.8 Language) Attend the "Academic Writing in English" class. (Yil.8 Language) Attend the series of Consortium Seminars on Hu reto obtain career information outsid Once you enter the Evidence/ Action Plan fields, the background color changes to light ergence Click the selection
更新日時 /04/22 22:19 中项目(S air A1 知識甚	bub-dom h) パJ項目(D dge) A1.1専門分野の知 dge) A1.2研究方法(理 rch methods - theo A1.3研究方法(広 methods - practical A1.4 情報探索力() A1.5 情報リテラシ・ nformation literacy A1.6 言語力(Lang	escriptor) 識 (Subject knowle 論的知識) (Resea retical knowledge) 用力) (Research application) Information seeking 一と情報管理力 (I and management) uages)	フェ ーズ(Phas e) エビデンス(Evidence) 3 メ共同研究を中心にこのの研究プロジェク 施し、8・9月の学会で発表した。 メ統計解析などの、交会に2カ月に1回惑 3 発表した「A1.1専門分計、1号 ・「博士論文の追研究をcoを学会」、 北判的思考力」 1 - Carried out the ABC project focusing main ugh the collaborative research and made a stion at the Conference in Aug-Sep. 5 - Attended a study group on Statistical Ang east once in two months and made a press there. ("A1.1 Subject Knowledge") 2 - Submitted an additional paper on the res eme of the doctoral thesis at the XVZ Socie	アクションプラン(Action Plan) トを素、メ「科学者のための英語プレゼンテーション術」を履修する「A1.6 言語力」 加し、メ第2・5・8回のコンソーシアム人材セミナーを受講しアカデミア以外の情報を得る。 「A2.3 - Attend the "Academic Writing in English" class. (*A1.6 Language) ************************************















④ Mark your attendance to the recommended class/program.

能力養成科目/プログラム詳細(Recommended Subject/Program Description)

能力養成科目/プログラムの詳細です。一番下までスクロールすると、養成が期待される能力の一覧を確認することができます。 い。履修後に下記「参加記録」をクリックしておくと、自己評価レポートに能力養成のエビデンスとして表示させることができ to the bottom to check the full list of RDF skille expected to be developed by taking this subject/program. If you want to attend this, pleas "Attended" button to reflect your attendance in your self-assessment report as the evidence of your skill development action

参加記録(Record Attendance)		參加取消(Canc	el Attendance)				
高	高度イノベーション人財のためのキャリアデザイント						
	講師(Instructor)		三須 敏幸				
	開講機閱(Univ./Or	g.)	広島大学(Hiroshima University)				
	機関内講義コード(Clas	s Code)	85026001				
	開講部局(Faculty/De	ept.)	グローバルキャリアデザインセンター(大学院共通科 目)				
	開講期(Semester/Te	rm)	1年次生前期集中				
	曜日・時限(Day/Per	iod)	(集) 集中: 担当教員の指定による				
	必修選択の別(Mandatory,	Optional)	選択(Optional)				
	授業形態(Class Sty	le)	講義				
	単位(Credit)		1				

Click the title of the class/program to check description. If you're planning to attend it, you can mark it. Or you can cancel the previous marking record.

Class information is basically retrieved from each syllabus, but you should check details of the class requirement separately.

小項目別養成科目(Record eがついている能力は、履 変更すると(=履修済記録 double circles, once you com lf you set the attendance flag	mmended Class per RDF Skills) 修することにより習得することができると想定さ をつけると)、 ® がついた能力を義成したエビラ plete the course. Skills with single circles will be sup on after you complete the course, it will be reflecte	Y F F C たれています。cがついている能力は、副次的に対象能 デンスとして自己評価レポートに反映されます。This c plementally developed. d in your assessment report as evidence that you have de	ou can check the full list of RDF skills the subject lass/program is expected to nhance.
大項目(Domain)	中項目(Sub-domain)	小項目(Descriptor)	
B:個人の能力	B3 能力開発・キャリア開発	B3.1キャリアマネジメント(Career management)	•
		B3.2 継続的な能力開発(Continuing professional developm	•
		B3.3 機会への対応力(Responsiveness to opportunities)	0
D: 影響とインパクト	D3 一般社会との関わりとインパクト	D3.5 社会・文化への影響力(Society and culture)	•
		D3.6 グローバル市民としての対応力 (Society and culture)	e
		X CLOSE	











